報告書

横浜発達障害者の明日を考える会

２０１４年１月１７日（金）
@地域活動支援センター「いなほ」１階
ギャラリーこうなん

テーマ： 異性とのおつきあいの仕方

多かれ少なかれ異性に興味があるのは、人として自然なことだと思います。もちろん人間同士ですので、相性や好みもあるでしょう。
今回は、異性との関係での失敗談やつきあう上で心がけていること、多様な恋愛・結婚のあり方にいたるまで、普段話すことの少ない異性のことについて話し合いました。

今回は、異性とのつきあいではどちらかというと消極的、恋愛経験が少ない、人に相談をしたことがない、という参加者の方が多いようでした。それだけに、このテーマについて話すのは難しい、戸惑う、といった感想もありました。一方で、普段考えたり話したりすることが少ない分、今回の話し合いで考え方が広がったり、話せて良かったと感じたりする方もいました。

異性とのおつきあいの仕方について

恋愛の入口で
ハードルに感じること
年齢・無職・性格・障害
恋愛への苦手意識・家族

障害はハードルにはならない
恋愛は誰でも難しいもの
自信こそが異性には魅力
障害に向き合う姿勢も魅力に

恋愛中に乗り越えること
相手とのすれ違いの解決
周囲の反対や世間の目
血のつながらない相手を
家族よりも考えること

いろいろな恋愛・結婚のあり方
＊本人達が幸せなのが大事＊
別居婚
高齢で再婚・年齢は関係ない
女性（の方）が稼ぐ
籍を入れない
発達障害者同士で結婚

恋愛の失敗談
告白された時に
どうしていいかわからず…
⇒相手が離れていった
⇒傷つける言葉で拒絶

お付き合いでの工夫
＊距離感の調整＊
好きでも踏み込まれたくない
自閉的になりすぎないよう
心掛ける
少しずつ距離を縮める

恋愛の入口でハードルに感じること　―　年齢、無職、家族のこと、苦手意識…

- 年齢的に、一般的にもう恋愛とかの話をまともにすると頭がおかしいと言われるんじゃないかと思うくらい年齢的に危ない所にきている。
- 友だちが彼女紹介するよと言われても、今無職だし、とそこがネックになって女性と付き合うまで発展はなかなかしない。相手の女性も無職の男性と付き合いたいと思わないのかなと思うし、異性との恋愛となると、やっぱり最低限働いてないとなかなか踏み出せないなという思いがある。
- 彼氏何やってるのと言われて無職というのはそれでいいのかな、やっぱり駄目ではないかと暗黙のものがあるのではと思った。大多数の女性の感覚では８・９割は男の人が働いていて所得が自分より多くてというのが前提なので間口は狭いと思う。
- 無職というだけで自信がなくなり、自信ないオーラがどうしても出る。肩書きがないというか、学生でもフリーターでもサラリーマンでもないというのはやっぱり、自信のなさにつながるから、もて期に出る輝きオーラは出ない。
- 今は、特に母親のために生きているというのが私の場合強いので、これからも相手の方と接する時に、深く考えたりできるタイプではないのかなと思う。
- （異性とのつきあいの）エチケットは自分でも誰からから教えてもらいたいくらいなので、私みたいなタイプが苦手という人が中にはいるかもしれないし、なかなか人間関係は難しいなと思ってしまう。未だに独身でいるのも、一緒に生活していくのが自分にはできそうにないし、そこまで入れ込む相手に出会っていないのもさみしい気もするが、これからも自分が死ぬまで付き合える人に３人ぐらい出会えればいいかなと思う。

発達障害は恋愛のハードルになる？

- あんまり障害だから結婚できるできないとは全然思っていない。自分から障害を人生の障害にしちゃいけないと思う。障害がなくてもみんな恋愛でつまづくので、あんまり気にしなくていいんじゃないかなと思う。
- 自分を好きになれないのに人が好きになってくれるわけはないというか、自分に自信があれば周りにもわかるし、それは障害の有無関係ない。障害を乗り越えて頑張っているぞというのを見せれば、絶対異性は寄ってくると思う。
- 結構性格的に内向的な面の方が多いので、いざ恋愛となると、障害のこともあるし、結構困るしこれから先そんな出会いあるのかなと感じる。
- 障害があるということで、引け目を感じているというか、私の場合は愛想が悪いというかあまり社交的ではないので…障害がなくてもつまづくということだが障害があることで余計わかりにくくなることもあるのではないかと思った。

異性とのおつきあいでの工夫　―　自分の特徴・距離感を意識

- 以前男性と付き合っていた時にセールに無理矢理つきあわせると切れちゃう感じだったので、セールは一人で行くからと。それは彼を放っているのではなく、向こうにしてみれば

親切。彼の趣味には私は関わらないことも。一緒にいればいいというものではない。一緒に行動するから愛が深いわけではない。

- 自分の消極的なところもあるが、そんなに必要以上に、自閉症みたいにならないように自分自身も心がけたいと思っている。
- この人いいなと思って最初に誘ってみても断られなかったので、彼氏がいないのかなと思ったら、彼氏がいますとなると、いきなり距離を縮めたくないというのがあったりする。意図的に駆け引きしているわけではないが微妙な調整で距離感を縮めていくのがいいというのは誰でもあるんじゃないかと思う。
- 私はアスペルガーで自閉症の傾向が強いので、やっぱり自分の周りに壁があって、どんなに好きな人でもその中に入って欲しくないというのがあって、結構長く付き合って結婚まで行ってもそれが出来ない感じ。親戚に別居婚をした人がいるが、それいいなと思ったり。

昔の恋愛での失敗談

- 中学の時に、クラスの女性から告白をされて初めて付き合ったが、本当だったら部活後待ち合わせて一緒に帰れば良かったとか今から思うが、どうしていいかわからずそっけない態度をずっととっていたら、相手の方から離れてしまった。今から思えば惜しいことしたなと思う。でもその時は恥ずかしいという思いもあって。でもそんなことはめったにあることじゃないので、それもいい思い出としておきます。
- 生まれて初めてラブレターをもらい、どうしていいかわからず、いろいろ考えているうちにわけがわからなくなり、変にその頃流行っていたドラマにも影響され、本当に悪いことしたと思うが、大嫌いと送ってしまった。これ以上寄ってこられると怖いと思って。今でも後悔しているが、これなら無視した方がよかったと思う。二度としちゃいけないと思う。お断りするのはいいが傷つけてはいけないと本当に思った。向こうはものすごい勇気を出してラブレターをくれたと思うので。

恋愛中に乗り越えること　―　相手とのすれ違い、家族・周囲の反応

- 何気ないことの中に大きな（男女の）違いが隠れてるかも。気付かないだけで、恋愛の時にそれが表面化して、こういえばわかってくれるだろうと無意識に言ったりやったりしている。そこで率直に話し合いができればいいが、すれ違いが大きいと率直さどころじゃないのかなと。離婚率が４割と言うが、一生懸命話し合うんだろうけどすれ違いが大きいからそうなるという、もったいない人も多いと思う。すれ違い自体に気付かずに離婚することもあるのではないか。離婚に限らず普段の恋愛関係でも。
- 学生の頃に、知り合った人から、多分初めて自分から好きと言うようなことを言って、その方とは長くはお付き合いしていないが、周りの人から見るとやめとけという批判が多く、両親からもその人は嫌われていて、私もちょっと彼がかわいそうだなと思っていたし今でも情が残っているほど結構好きだった。

- 周りは良くても悪くても何かしら言う。やっぱりそこで、自分はこれでいいんだと保てる強さとか勇気が必要。言ってくれるのはそれだけ家族が思ってくれているということ。そこで自分の強さや勇気と家族の言葉のどっちに自分は価値を求めるかとか、血のつながっていない異性の方を、血のつながっている家族よりも好きになるわけだから難しい。

いろいろな恋愛・結婚があっていい

- 籍を入れなくても夫婦らしくしていれば、本人たちが良ければ世間の目は気にしなくていいのではないかと思う。愛のゴールは結婚だけじゃない。
- うちは両親ともアスペルガーなので、アスペルガーどうしの結婚もありかなと。
- 別居婚した祖父母は、二人とも再婚で別居婚をしたが、二人とも 70 過ぎてから事後報告だった。大正生まれがぶっとんだことしたなと思ったが。二人とも亡くなったが、やっぱり二人が幸せだったので、良かったんじゃないか。
- 自分に合った形の恋愛とか結婚とかそれでいいと思うという話があったが、そういう風に考えれば、年齢に関係なく、この人いいなと思えばそれでいいわけで。
- 奥さんが所得が多いとなると一番思うのは、いわゆるヒモと言われる人。男性と女性の決定的な違いは、やっぱり男性が経済的にも主体性を最終的に責任を持たなければいけないというのがあるのではないかなと。でも今の話を伺っていると必ずしもそうではないのかなと。だから率直に話し合ってこういう状態だけどいいですか、はいじゃあ私が働きますというのであればいいのかなと。
- 今働いてない状態で、相手の人が働いていてそれでお互い思いあっていて、僕が働いてない状態でもいいと言ってくれれば付き合うと思う。でも必ず働くから、それまで待って下さいとは言うと思う。